

第11回ふくおかエコ農産物認証委員会 議事録

1 日時 令和元年9月20日(金) 14:00~15:30

2 場所 福岡県庁行政棟 特1会議室

3 出席者

認証委員8名(高木委員長、三苫副委員長、甲斐委員、野間口委員、林委員、富田委員、
草場委員、森委員)

認証委員会事務局3名(県庁農林水産部食の安全・地産地消課)

ふくおかエコ農産物販売拡大協議会事務局職員1名

4 内容

○ 議題

(1) 令和元年度7月申請の認証について

① 認証申請状況及び技術審査会報告

- ・ 新規申請12件、更新申請36件及び年度計画提出69件。
- ・ 新規申請では、新たに県基準を追加した品目及び特徴的な栽培をしている計画等について説明。
- ・ 申請内容の詳細な技術面については、事前に開催した「技術審査会」で審査し、必要な修正を行ったうえで問題なしと判断した旨を報告した後、各申請の概要を説明。
- ・ 委員からは以下の質問・意見が出されたが、新規申請、更新申請いずれも認証可であると判断された。

② 委員からの質問・意見及び回答

- ・ 中止の理由として病害虫多発による化学農薬基準回数超過があるということだが、基準が厳しすぎるのではないか。病害虫が多発した年については、救済措置を設けてはどうか。
 - 県基準については、現在の病害虫発生状況に応じた地域慣行になっているかどうか、毎年要望調査を行い、要望があれば見直しを行っている。救済措置については検討したい。
- ・ 化学農薬の削減割合については、散布回数だけでなく、散布量等を考慮できないのか。
 - 減農薬の考え方については、国のガイドラインとも関係しているため、現在は成分回数で5割以上削減としているが、ドローンを活用した農薬のスポット散布等も行われるようになってきているので、今後の動向を見ながら検討したい。

(2) その他

- ・ その他の議題発議は無く、協議事項は終了

○ 報告事項

(1) 福岡県の環境保全型農業の取組状況について

- ・ 事務局から、減農薬・減化学肥料栽培及びふくおかエコ農産物認証制度の取組状況について説明。

(2) ふくおかエコ農産物販売拡大協議会の取組について

- ・ 事務局から、ふくおかエコ農産物販売拡大協議会の令和元年度の活動計画について説明。
 - ・ 認証制度のPR活動の一環として、「ふくおか地産地消応援ファミリー」を対象とした農林漁業体験ツアーで、エコ農産物認証の梨収穫体験や、直売所等でのエコ農産物フェアを開催する予定であることを説明。
 - ・ 生産者向け取組事例としては、県内2か所でエコ農産物認証生産者交流会を開催する予定であることを報告。
 - ・ 委員からは、消費者全体へアピールを行うのも大事だが、子育て世代など特に関心がある人も多くいるので、今後は対象を絞ったアピールをしていってはどうか等、意見が出された。
-
- ・ 以上、議題終了後、閉会。